

スライム 実験手順

東京工科大学 化学サークル (2020)

注意！

- ・ 小さなお子様は大人の方と一緒に、安全を確認して行ってください。
- ・ 実験後の廃棄はお住いの地域の指示に従ってください。

準備

水、洗濯糊、ホウ砂、使い捨ての容器（紙コップなど）、割りばし、食紅

実験手順

- ①水 50 mL にホウ砂 5 g を溶かし、飽和水溶液（ホウ砂が溶け切らない状態）を作る。
- ②水 50 mL と洗濯ノリ 50 mL を混ぜ、そこに顔料を 2、3 滴加える。
- ③ 2 の容器をかき混ぜながら、1 を少しずつ入れる。
- ④好みの硬さになったら完成！

ちなみに…

②の部分で洗濯糊や水の量を変えること、スライムの伸びの良さや質感などが変わります。下に比較画像を出しておくので、参考にしてくださいね！ぜひお試しあれ！

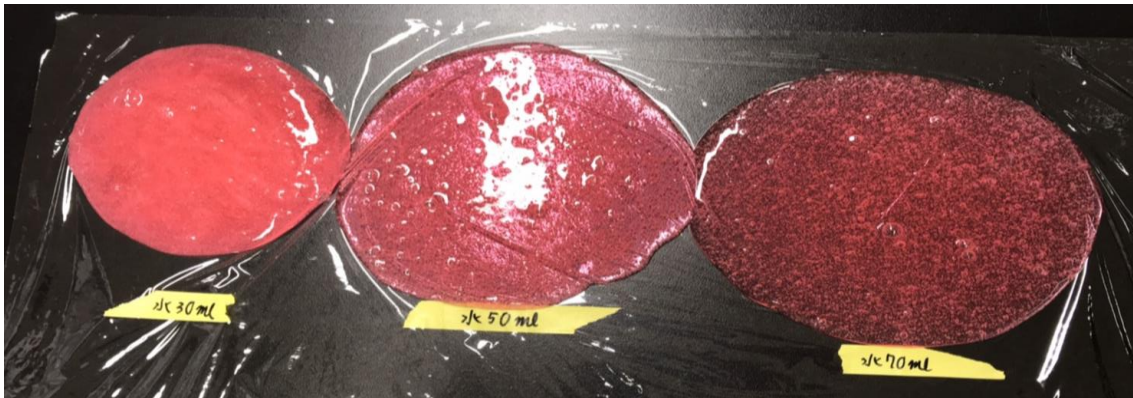


図1 水量別のスライム



図2 水量別のスライム（伸ばした場合）

クイズについて

世界初のスライムは何を作ろうとして生まれた？

答え ゴム

第 2 次世界大戦中に天然ゴムの産地である東南アジアを日本軍に占領されゴムが不足したアメリカで、人工的にゴムを生産しようとした際に生まれたものであるといわれています。現在最もよく知られているポリビニルアルコールとホウ砂を用いたスライムの作製法は、1985 年の第 8 回科学教育国際会議でマイアミ大学のサーキス教授によって日本に初めて紹介されました。ポリビニルアルコールは洗濯のりの主成分であり、ホウ砂は目の洗浄薬として薬局で簡単に手に入るため、多くの学校で理科教材としてスライムが作られるようになりました。

参照元

スライムとは - スライムの歴史 (スライム.com) - 2016/12/9 更新

<http://slimeslime.com/2016/12/03/what-is-slime/>